令和5 年度発行「書道Ⅱ」シラバス案

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 書道Ⅱ | 単位数 | 2単位 |
| 学科・学年・学級 | ○○○○科　第○○学年　○○組 |

１　学習の目標

|  |  |
| --- | --- |
| 学習の目標 | 書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。(2) 書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。 (3)主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。 |
| 使用教科書・副教材等 | 東京書籍「書道Ⅱ」 |

２　学習計画

（１）年間指導計画案

| 月 | 分野 | 学習内容（教科書の構成） | 教科書頁 | 配当時数 | 学習活動例 | 学習指導要領の内容 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 四月　～　九月 |  | 漢字の書体とその特徴 | 4-5 | 適宜 | ・書道Ⅰで学習した漢字の書体の成立を踏まえて、それぞれの書体の特徴について確認する。 | B(1)イ(ｱ) (ｲ) (ｳ) |
| 漢字の書 | 篆書 | 篆書の美 | 6-7 | 1 | ・書道Ⅰの篆書の学習を踏まえて、篆書の成立と変遷、書風の特徴について理解を深める。 | A(2)ア(ｱ)、イ(ｱ) (ｲ)、ウ(ｱ) (ｲ)B(1)ア(ｱ)、イ(ｱ)(ｲ)(ｳ)(ｴ) 共通事項(1)ア､イ |
| 「石鼓文」「甲骨文」「大盂鼎」コラム：青銅器の種類と役割 | 8-13 | 5 | ・書道Ⅰの篆書の学習を踏まえて、個性的で多様な篆書の表現を鑑賞し、その美について理解を深める。・篆書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。 |
|  | 篆刻・刻字 | 印の歴史と用法創作－落款印を刻そう－鑑賞－篆刻の美や風趣を味わおう－創作－表札を彫ろう－ | 14-21 | 6 | ・印の歴史や役割、用法などを理解する。・書道Ⅰの篆刻の創作を踏まえ、創作の手順に従って落款印を刻し、押印する。・創作の手順に従って、彫刻刀を使い表札などを制作する。 | A(2)ア(ｱ)、イ(ｱ) (ｲ)、ウ(ｱ) (ｲ)B(1)ア(ｱ)、イ(ｱ)(ｲ)(ｳ)(ｴ) 共通事項(1)ア､イ |
|  | 隷書 | 隷書の美 | 22-23 | 1 | ・書道Ⅰの隷書の学習を踏まえて、隷書の成立と変遷、書風の特徴について理解を深める。 | A(2)ア(ｱ)、イ(ｱ) (ｲ)、ウ(ｱ) (ｲ)B(1)ア(ｱ)、イ(ｱ)(ｲ)(ｳ)(ｴ) 共通事項(1)ア､イ |
|  | 「礼器碑」「張遷碑」「開通褒斜道刻石」「居延漢簡」コラム：書写材料の変遷－木簡から紙へ－ | 24-29 | 5 | ・書道Ⅰの隷書の学習を踏まえて、個性的で多様な隷書の表現を鑑賞し、その美について理解を深める。・隷書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。 |
|  | 草書 | 草書の美 | 30-31 | 1 | ・書道Ⅰの草書の学習を踏まえて、草書の成立と変遷、書風の特徴について理解を深める。 | A(2)ア(ｱ)、イ(ｱ) (ｲ)ウ(ｱ) (ｲ)B(1)ア(ｱ)、イ(ｱ)(ｲ)(ｳ)(ｴ)共通事項(1)ア､イ |
|  | 「書譜」「十七帖」「自叙帖」「国申文帖」コラム：芸術の書へ－形式の変化とともに－ | 32-39 | 5 | ・書道Ⅰの草書の学習を踏まえて、個性的で多様な草書の表現を鑑賞し、その美について理解を深める。・草書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。 |
|  | 行書 | 「集王聖教序」「温泉銘」「祭姪文稿」「蜀素帖」「伊都内親王願文」 | 40-45 | 6 | ・書道Ⅰの行書の学習を踏まえて、個性的で多様な行書の表現を鑑賞し、その美について理解を深める。・行書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。 | A(2)ア(ｱ)、イ(ｱ) (ｲ)、ウ(ｱ) (ｲ)B(1)ア(ｱ)、イ(ｱ)(ｲ)(ｳ)(ｴ) 共通事項(1)ア､イ |
|  | 楷書 | 「張猛龍碑」「鄭羲下碑」「孟法師碑」「薦季直表」「楽毅論」 | 46-51 | 6 | ・書道Ⅰの楷書の学習を踏まえて、個性的で多様な楷書の表現を鑑賞し、その美について理解を深める。・楷書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。 | A(2)ア(ｱ)、イ(ｱ) (ｲ)、ウ(ｱ) (ｲ)B(1)ア(ｱ)、イ(ｱ)(ｲ)(ｳ)(ｴ) 共通事項(1)ア､イ |
|  | 創作─漢詩を書こう─鑑賞─書の美や風趣を味わおう─コラム：座右の銘－自らの思いを書に託して－ | 52-56 | 4 | ・創作の手順に従い、書道Ⅰ・Ⅱの漢字の書で学んだ古典の特徴や技法を生かして、創作し、相互評価をする。・近現代の作品を鑑賞する。 | A(2)ア(ｱ) (ｲ)、イ(ｱ) (ｲ)、ウ(ｱ) (ｲ)B(1)ア(ｱ)、イ(ｱ) (ｲ) (ｴ) |
| 十月　～　十二月 | 仮名の書 | 仮名の美─古今和歌集に見る展開─仮名一覧表─平仮名・変体仮名─連綿 | 58-63 | ３ | ・書道Ⅰの学習を踏まえて、仮名の書の発展と古今和歌集との関係について理解し、鑑賞する。・書道Ⅰの学習を踏まえて、平仮名と変体仮名の用筆、字形の取り方について理解を深める。・書道Ⅰの学習を踏まえて、連綿による文字の表情の変化と、その効果について理解を深める。 | A(3)イ(ｱ) (ｲ)、ウ(ｱ)B(1)ア(ｱ)、イ(ｱ)(ｲ)(ｳ)(ｴ) 共通事項(1)ア､イ |
| 「高野切第一種」コラム：伝称筆者「本願寺本三十六人家集」「針切」 | 64-69 | 6 | ・書道Ⅰの学習を踏まえて、平安時代の代表的な古筆や多様な表現の古筆を鑑賞し、仮名表現について理解を深める。・仮名の古筆の美について理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。 | A(3)ア(ｱ) 、イ(ｱ) (ｲ)、ウ(ｱ) (ｲ)B(1)ア(ｱ)、イ(ｱ)(ｲ)(ｳ)(ｴ) 共通事項(1)ア､イ |
| 行書きの美─曼殊院本古今和歌集─散らし書きの美─寸松庵色紙─コラム：料紙の世界 | 70-75 | 4 | ・仮名の古筆を鑑賞し、行書きと散らし書きの美について理解を深める。・書道Ⅰの学習を踏まえて、行書きと散らし書きの基本的技法を確かめる。・行書きや散らし書きの変化の付け方を理解する。 | A(3)ア(ｱ)、イ(ｱ) (ｲ)、ウ(ｱ) (ｲ)B(1)ア(ｱ)、イ(ｱ)(ｲ)(ｳ)(ｴ)共通事項(1)ア､イ |
| 創作─小倉百人一首を書こう─鑑賞─書の美や風趣を味わおう─コラム：紫式部と書 | 76-80 | 4 | ・創作の手順に従い、仮名の書で学んだ古筆の特徴や技法を生かして、創作し、相互評価をする。・近現代の作品を鑑賞する。 | A(3)ア(ｱ) (ｲ)、 イ(ｱ) (ｲ)、ウ(ｱ) (ｲ)B(1)ア(ｱ)、イ(ｱ) (ｲ) (ｴ)共通事項(1)ア､イ |
|  | 漢字仮名交じりの書 | 古典を生かした表現自分の意図に応じた表現言葉と書の調和 | 82-93 | 6 | ・書道Ⅰを踏まえて、古典や古筆の特徴を生かして、漢字と仮名を調和させたり構成を工夫したりして書き、漢字と仮名の調和する表現を理解する。・書道Ⅰを踏まえ、書体・書風や用具・用材の工夫による表現の効果について理解し、自分の意図に応じた表現を工夫し技能を身に付ける。・文字の大きさや配列など、紙面の構成を工夫し、表現に変化をつけた際にもたらされる効果について理解する。・表現したい言葉と表現したい感興に応じて、どのような技能や構成が必要となるかを理解し、作品への生かし方を構想し工夫する | A(1)ア(ｱ) (ｲ) (ｳ)、イ(ｱ) (ｲ)、ウ(ｱ) (ｲ)B(1)ア(ｱ)、イ(ｱ) (ｲ) (ｳ) 共通事項(1)ア､イ |
| 一月　～　三月 | 創作─心に響いた言葉を書こう─鑑賞─書の美や風趣を味わおう─ | 94-97 | 4 | ・創作の手順に従い、表現の工夫で学んだ技法を生かして、意図に基づいて創作し、相互評価をする。・近現代の作品を鑑賞する。 | A(1)ア(ｱ) (ｲ) (ｳ)、イ(ｱ) (ｲ)、ウ(ｱ) (ｲ)B(1) ア(ｱ) (ｲ)、イ(ｱ)(ｲ)(ｳ)(ｴ) 共通事項(1) ア､イ |
|  | 書で発信しよう心に触れる手紙 | 98-101 | 3 | ・教科書に掲載されている学校のPRポスター例について考え、目的としている表現や、そのための工夫について考え、話し合う。・書の表現がもたらす効果を活用している例について考え、話し合う。・手書きで書かれた手紙について鑑賞する。・それぞれが書かれた背景や内容について考え、そこから受ける印象について話し合い、理解する。 | A(1)ア(ｱ) (ｲ) (ｳ)、イ(ｱ) (ｲ)、ウ(ｱ) (ｲ)B(1) ア(ｱ) (ｲ)、イ(ｱ)(ｲ)(ｳ)(ｴ) 共通事項(1) ア､イ |
|  | 資料 | 書の表現と歴史書道史略年表書を支える人々鑑賞の言葉を広げよう | 102-115 | 適宜 |  | B(1)イ (ｲ) (ｳ) (ｴ)  |

|  |  |
| --- | --- |
| 評価 | 評価は具体的に次のものを対象にする。・表現を工夫して表した成果（作品）・表現の意図・構想・表現の工夫の取り組みの記録（ワークシート等）・考えたことや意見交換の記録（ワークシート等）・発言（活動の様子）と、その記録（ワークシート等）・作品制作への取り組み状況（活動の様子）・学習活動への参加状況（出席状況・学習態度・意見発表等）一年間の評定は上記の内容を総合的に判断する。 |